

アメリカ合衆国大統領

バラク・フセイン・オバマ殿

アメリカの未臨界核実験に強く抗議する

米エネルギー省の発表によると9月15日ネバダで未臨界核実験を実施していたことが明らかになった。「核兵器のない世界」を提唱したオバマ政見が核実験を強行したことに強く抗議する。

あなたは大統領選挙で「核兵器のない世界を求める」ことを公約に掲げ大統領になった。そして昨年、国連安全保障理事会では「核兵器のない世界をめざす」と国際社会にはたらきかけた。そうしたもとで本年5月の核不拡散条約（NPT）再検討会議では「核兵器のない世界で安全をはかる」ことが合意された。この合意は世界の核廃絶を求める人々を大きく励ますものとなった。

しかるに今回の未臨界核実験は、「核兵器のない世界をめざす」世界の人々への許すことのできない裏切りであり断固抗議する。

高知県には1954年の貴国の「キャッスル作戦」にともなう放射性降下物によって多くの漁船員が被災し、今も苦しんでいる。米国は水爆実験で世界の人々に大きな被害を与えた国として核廃絶の先頭に立つべきである。そのためにも核廃絶条約づくりのための交渉を開始し、締結することを強く要求する。

2010年10月14日

高知県原水爆対策協議会